

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人福祉施設土地借上料に係る補助				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市社会福祉法人の助成に関する条例				<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
③支出先	社会福祉法人武芸会						
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	社会福祉法人武芸会				に対して	
	手段	老人福祉施設土地賃借料に係る補助				を行うことで	
	受益者	要介護者				が(を)	
	意図	老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所できる				という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 12 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,114	1,114	1,114	1,114	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況	見直しは、行っていない。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	1,114 千円	R4歳出決算額	1,114 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	社会福祉法人の全額持ち出しとなる

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	介護保険制度が始まる前から助成してきたものであり、このまま継続する必要がある。支援団体と地権者との間で結ばれている土地賃借契約の契約更新時において、適正価格か否かを精査する必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	低所得者利用者負担額減免措置				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
②支出の根拠	岐阜県低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業費補助金交付要綱					
	対象のサービスを提供する社会福祉法人等					
③支出先	なし					
	国の負担あり 負担割合 3/4 負担額 千円					
④国・県の負担	県の負担あり 負担割合 3/4 負担額 千円					
⑤支出の目的	対象	対象のサービスを提供する社会福祉法人等			に対して	
	手段	低所得者利用者負担額軽減制度に係る補助			を行うことで	
	受益者	低所得で生計が困難な要介護者			が(を)	
	意図	利用者負担額を軽減されることにより、介護サービスを利用しやすくなる			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成12年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○補助・負担率を定めている→補助率	1/2
	2	3	90	40	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	実績報告により確認
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	—
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	低所得者の負担が増大する

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
	②支出の根拠					地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金交付要綱		(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先					市内高齢者施設		(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
								(5)個人に対する補助金・負担金	
								(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	10/10	負担額	5,907千円			
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円			
⑤支出の目的	対象	防災・減災対策を実施したい高齢者施設				に対して			
	手段	防災・減災対策設備の整備費の補助				を行うことで			
	受益者	高齢者施設				が(を)			
	意図	安全かつ安心に介護サービスを提供できる				という状態にする			
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	令和2年度				
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体		その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし		<input type="radio"/> 負担あり		負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	10/10(上限あり)	
	-	-	5,907	15,400	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式		
					定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円		R4歳出決算額	千円		翌年度繰越額
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%		<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	影響は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者施設光熱費高騰支援事業				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市社会福祉事業等物価高騰支援金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	市内高齢者施設				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	電気、ガス料金等の高騰により、著しい影響を受ける高齢者施設				に対して	
	手段	高騰する光熱費の一部を補助				を行うことで	
	受益者	高齢者施設				が(を)	
	意図	介護サービスを維持し、安心して利用できる体制が図られる				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 1 月 16 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	令和 4 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )			
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	-	-	17,333	-	○単価を定めている→算式	サービス種別により異なる
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	影響は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	○ 5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和5年度以降の実施は未定		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112491
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市福祉人材確保補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市福祉人材確保等補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 市内の介護事業所で新規採用後6か月を経過、または社会福祉士等の資格を取得した者他					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					なし
〇県の負担あり 負担割合 1/2 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	関市内の介護事業所で新規採用後6か月を経過、または社会福祉士等の資格を取得した者等			に対して	
	手段	補助金の支給			を行うことで	
	受益者	介護従事者			が(を)	
	意図	就労意欲、技能の向上を目指すことにより、関市の介護従事者不足が軽減される			という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	令和 2 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	〇 その他 ( 非該当 )		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	3,170	4,510	4,110	5,000	単価を定めている→算式		
②過去における見直し状況						〇 定額補助・負担	その他 ( )
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	〇 決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	経年的検証が必要
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	検証後検討

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	〇 5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	本事業は令和5年度受付分をもって廃止する。人材確保に向けて、補助事業以外の新たなスキームを構築する必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111400
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市敬老事業補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市敬老事業補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	敬老事業を実施する自治会等団体			(3)一般負担金(団体等への負担金など)
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
					(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	77歳以上を対象に、敬老事業を実施する団体			に対して	
	手段	77歳以上の高齢者を対象に敬老事業の実施			を行うことで	
	受益者	77歳以上の高齢者			が(を)	
	意図	敬老事業を実施することで、人と人との繋がり、地域の繋がりを維持し、高齢者の孤立をなくす			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	昭和50年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
	2,570	14,678	14,526	15,942	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	敬老会実施 3,000円/人、記念品交付 1,500円/人
②過去における見直し状況	平成21年度に10%削減。単価3,000円から2,700円へ削減。令和3年度に会を開催:3,000円、記念品配付:1,500円とした。また令和7年度からの対象年齢を75歳以上から80歳以上に引き上げ、経過措置として令和3年度から1歳ずつ引き上げる。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	実績報告により把握
	支出額・補助・負担率は適正か	対象事業と補助単価の検討が必要
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	地域とつながる機会が減少する

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	事業対象者を80歳以上の者とした。(5年にわたり、75歳から段階的に年齢を引き上げた。)団体が行う敬老事業に伴う補助金額を敬老会に参加した高齢者1名につき3,000円、団体が実施した敬老事業において受けた益が記念品の受領のみである高齢者1名につき1,500円とした。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112040
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者いきいき住宅改善助成事業				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市高齢者いきいき住宅改善助成事業実施要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 介護保険を利用して住宅改修を行う者					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
						(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担					○なし	国・県の負担あり	負担割合
県					負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	介護保険を利用して住宅改修を行う者				に対して		
	手段	床段差の解消や手すりの取り付けなどの住宅改修に対する補助				を行うことで		
	受益者	対象者				が(を)		
	意図	自宅で安全に生活ができる				という状態にする		
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日				補助・負担開始年度	平成12年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○ その他(非該当)			
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	6~10割
	3,127	3,610	3,269	4,250	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	居宅介護住宅改修(介護保険)
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	完了報告により把握
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	低額所得者への改修負担増

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1現状のまま継続	○ 2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	申請件数が増えているため、予算額を増やす必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112040
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	徘徊高齢者探索システム助成事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	関市徘徊高齢者探索システム助成事業実施要項			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
	③支出先			<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金		
	徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)			(6)その他		
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)			に対して	
	手段	徘徊高齢者探索システム(GPS等)の購入助成			を行うことで	
	受益者	徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)			が(を)	
	意図	徘徊高齢者の居所が確認できるようになり、介護者の精神的、経済的負担を軽減する			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成	27	年度
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input checked="" type="radio"/> その他(非該当)			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	0	8	8	単価を定めている→算式	
						定額補助・負担
②過去における見直し状況	機器等の貸与事業を行っていたが、代替事業として平成27年度から初期費用(上限8,000円)の助成に変更					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	なし

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和元年度に高齢者等見守りシール交付事業を、令和2年度に市が加入する賠償責任保証制度を開始し、在宅高齢者・介護者の支援の充実を図っている。申請件数が少ないため、見守りシール交付事業の周知を図り、事業の見直し(廃止)を検討する必要がある。		



令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111220
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人クラブ助成事業補助金				補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市老人クラブ助成事業補助金交付要綱		
						<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先					市内の単位老人クラブ		
						<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				<input type="radio"/>			(5)個人に対する補助金・負担金	
				<input type="radio"/>			(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合	2/3	負担額	1,133 千円	
⑤支出の目的	対象	単位老人クラブ					に対して	
	手段	地域の見守り、健康増進活動、友愛訪問活動等の一部補助					を行うことで	
	受益者	単位老人クラブに加入する高齢者					が(を)	
	意図	自らの生きがいを高めるとともに高齢者福祉を増進する					という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	~	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 50 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>		主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>		その他 ( )
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>		負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1人 あたり 0~約1,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	2,476	2,308	1,890	2,002	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	その他 ( )	
②過去における見直し状況	平成21年度に一律10,000円、補助金を削減。60,000円を50,000円、66,000円を56,000円、72,000円を62,000円に変更。							
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	4,379 千円		R4歳出決算額	4,309 千円		翌年度繰越額	70 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合			43.2 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	組織活動が低下する

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	元気な高齢者の活力は、今後の地域づくりのために不可欠であり、そのための老人クラブの存在は大きい。関市老人クラブ連合会に加入しているクラブ数は減少し、さらには、単位老人クラブへの加入者数も減少しつつあるため、会員の加入促進が必要である。					

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111220
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人クラブ助成事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市老人クラブ助成事業補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	関市老人クラブ連合会				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	2/3	負担額	1,000 千円	
⑤支出の目的	対象	関市老人クラブ連合会				に対して	
	手段	健康増進、社会奉仕、教養事業の一部補助				を行うことで	
	受益者	関市老人クラブ連合会				が(を)	
	意図	組織として自立した事業を実施でき、高齢者福祉の増進に繋が				という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	50	年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input checked="" type="checkbox"/> 負担あり	負担額	1クラブあたり 14,000 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,332	1,371	1,500	1,500	単価を定めている→算式	
					<input checked="" type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	特に無し					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	5,767 千円		R4歳出決算額	5,422 千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	26.0 %		翌年度繰越額 345 千円		
決算額を把握していない						

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	組織の維持が、困難となる

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和5年4月1日現在の会員数は2,058名で、当該事業を実施していくためには、現在の補助額が最低限必要と考える。平成21年度から事務職員も独自に雇用しており、自主運営をしている。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111240
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者居場所づくり事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市高齢者居場所づくり事業補助金交付要綱				<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
③支出先	(公社)関市シルバー人材センター						
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	(公社)関市シルバー人材センター				に対して	
	手段	高齢者の居場所の整備及び運営等に対して一部補助				を行うことで	
	受益者	地域の高齢者				が(を)	
	意図	住み慣れた地域の中で、健康で生き生きとした生活を送り、孤立化や引きこもりを防ぐ				という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	~	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 25 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,200	1,200	1,200	1,200	単価を定めている→算式	
	<input type="radio"/> 定額補助・負担		<input type="checkbox"/> その他 ( )			
②過去における見直し状況	平成30年度に補助対象経費および補助率を見直した					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	227,475千円	R4歳出決算額	222,702千円	翌年度繰越額	4,773千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	0.5%		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	経過見守り
	交付先の事業成果は向上しているか	経過見守り
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下

感染症対策を取りながらの事業実施のため利用者数が伸び悩んだが、PR方法を工夫して知名度のアップを図った

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	中心的な活動メンバーが固定化しつつあり、気軽に参加しやすい催しの企画や運営が求められる。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111800
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市シルバー人材センター事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	関市シルバー人材センター事業補助金交付要綱					
	③支出先		(公社)関市シルバー人材センター			
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	市と同額	負担額	11,270千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	(公社)関市シルバー人材センター				に対して
	手段	事業運営補助				を行うことで
	受益者	60歳以上の高齢者等				が(を)
	意図	就業機会の確保と能力活用を促進させることができる				という状態にする
⑥期間	R4年4月1日	~	R5年3月31日	補助・負担開始年度	昭和60年度	
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他( )			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1会員	あたり	2,000円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	11,270	11,270	11,270	11,270	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	その他( )
②過去における見直し状況	平成22年度のみ別で600,000円交付(20周年記念事業開催のため)。 平成28年度⇒平成29年度120,000円増額(ワンコインふれあいサポート事業補助を統合)。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	227,475千円	R4歳出決算額	222,702千円	翌年度繰越額	4,773千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	5.0%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	国庫補助金の上限額は市からの補助金の額と同額までとなるため、市の補助金を削減すると、同額の国庫補助金も減額されてしまう。 インボイス制度への対応について、国等の動きを注視する必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112060
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ふれあい・いきいきサロン事業				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	決裁による				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	(福)関市社会福祉協議会				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	(福)関市社会福祉協議会				に対して	
	手段	各地域のサロン活動の一部補助				を行うことで	
	受益者	高齢者				が(を)	
	意図	高齢者の社会的孤立を防ぎ、住み慣れた地域で生きがいを持って生活できる				という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	~	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 13 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	○	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	1人 あたり 100~500 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	399	1,043	2,700	2,800	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	2,937 千円	R4歳出決算額	2,937 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	91.9 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	○ 适当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生きがいづくりを支援する事業がなくなる

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	○ 2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	今後も高齢社会の進展に合わせて継続すべき事業であるが、補助の範囲を見極める必要があることから、補助金交付要綱の制定を行う。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112070
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市ロコトレ体操普及のための機器購入助成金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	関市ロコトレ体操普及のための機器購入助成金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	ふれあいいきいきサロン・住民主体の通いの場			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	23.67%	負担額	3千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	12.50%	負担額	2千円
⑤支出の目的	対象	ふれあいいきいきサロン及び住民主体の通いの場			に対して	
	手段	関市ロコトレ体操DVDを再生または投影するための機器の購入に要する経費の助成			を行うことで	
	受益者	参加者(市民)			が(を)	
	意図	自主的に体操し、ロコモティブシンドロームの予防(介護予防)に繋げる			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成	31	年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="radio"/>	その他( )
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	31	13	100	500	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	100千円	R4歳出決算額	100千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		100.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1現状のまま継続	<input type="radio"/>	2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4統合を検討	<input type="radio"/>	5終期を設定	<input type="radio"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動の機会が減少したことに伴い、コロナ禍前と比較すると申請数が減少していると思われる。地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、サロン活動の再開支援を行うことで本事業の啓発を行う。					

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112070
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市住民主体の通いの場事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市住民主体の通いの場事業補助金交付要綱				<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
③支出先	住民主体の通いの場						
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	23.67%	負担額	千円	
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	12.50%	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	住民主体の通いの場				に対して	
	手段	講師に対する謝礼及びその招へいに係る交通費の助成				を行うことで	
	受益者	参加者(市民)				が(を)	
	意図	専門職による適切な指導を受け、健康寿命の延伸、介護予防活動の活性化を図る				という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日				補助・負担開始年度	令和3年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他( )			
⑧構成員の負担	負担なし		<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人あたり0円～22,000円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	570	735	1,200	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	735千円		R4歳出決算額	735千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	100.0%		翌年度繰越額 0千円		
	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動の機会が減少したことに伴い、申請数が見込みより少なかったと思われる。地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、サロン活動の支援を行うことで本事業の啓発を行う。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112480・111600
-----	-------	-------	-------	---------	---------------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市新型コロナウイルス感染症対策経営安定支援補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市新型コロナウイルス感染症対策経営安定支援補助金交付要綱			○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	指定管理者(福)三輪会ほか)			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円		
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円		
⑤支出の目的	対象	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による物価の高騰で経営の安定に支障が生じた指定管理者			に対して		
	手段	光熱水費の高騰分に相当する金額の補助金の交付			を行うことで		
	受益者	指定管理者及び市民			が(を)		
	意図	安定した施設運営を行い、コロナ禍以前同様に施設を利用できる			という状態にする		
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	令和4年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他( )			
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○補助・負担率を定めている→補助率	12/11(対象者の収入で光熱水費の額を控除)
	0	0	4,397	0	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	○ 適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	○ なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	○ 把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	○ 適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	○ 達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	○ 向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	○ 物価高騰が継続する場合は影響が大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	○ 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	物価高騰の状況及び指定管理者の経営状況を注視し、継続的な補助の必要性について判断する必要がある。		



令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	1300462
-----	-------	-------	-------	---------	---------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市認知症カフェ補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市認知症カフェ補助金交付要綱					○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 認知症カフェ実施団体					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
	(6)その他						
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	38.50%	負担額	千円	
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	19.25%	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	認知症カフェ実施団体				に対して	
	手段	認知症カフェを行う経費の一部補助				を行うことで	
	受益者	認知症の方やその家族、地域住民				が(を)	
	意図	認知症に対する理解を深め、介護負担を軽減する				という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	平成30年度			
⑦事務局体制	<input checked="" type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input checked="" type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	88	203	408	900	単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	<input type="radio"/> その他(上限60,000円)	
②過去における見直し状況	R2年度に補助金を概算払か精算払にするか選べるように改正した。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	407千円		R4歳出決算額	407千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	100.2%		翌年度繰越額 0千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	実施団体の減少

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止した団体が多かった。このため、コロナ禍でもできる取り組みの情報交換を実施した。事業の再開、新規実施団体を増やすことが課題となっている。		